

組立設置・取扱説明書

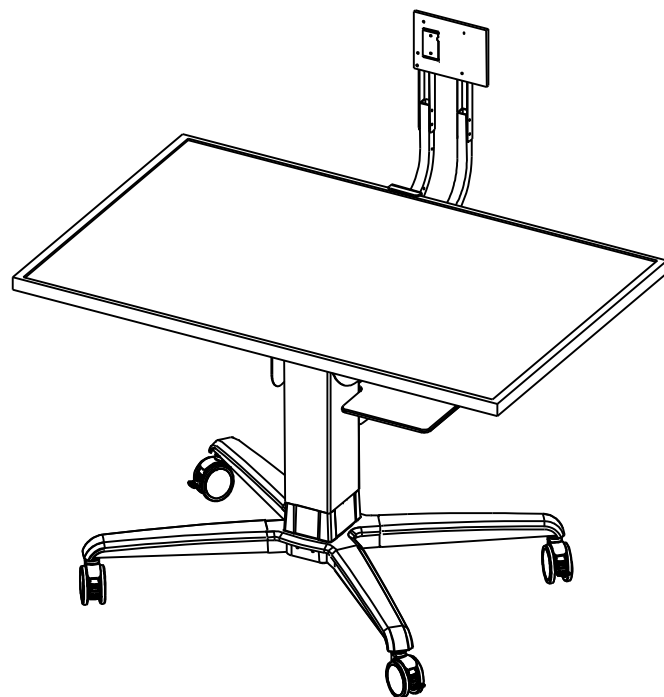
お客様へ

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。組み立てするにあたり、手袋・プラスドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。その他の準備品は「別途ご用意頂くもの」をご参照ください。

施工業者様へ

お客様の安全のためご使用場所の強度には、本機の荷重に耐えるよう十分ご注意ください。

■設置後は、この組立・取扱説明書をお客様へお渡しください。



DSB-70E-T1

DSB-70E-T2

もくじ



安全上のご注意	2~4
お手入れ方法	4
仕様	5
製品の特徴	5
部品の確認	6~7
別途ご用意いただくもの	8
組立要領	8~14
操作方法	15
リモコンのペアリング	15
ヒューズ交換	15
保証書	16

安全上のご注意






安全のために、必ずお守りください。

1. 本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
2. 安全にご使用いただく為に、設置前に本取扱説明書に記載された手順をよくご確認ください。本取扱説明書はいつでも参照できるように大切に保管してください。
3. 不適切な取り付け/取り扱いにより発生した設備の損害及び人員の傷害に対しては、当社は一切の法的責任を負いません。
4. 本商品は取り付け及び取り外しが容易に出来るよう設計されております。地震・台風などの自然災害によって発生した設備の損害及び人員の傷害に対しては、当社は一切の法的責任を負いません。
5. 本製品の取り付けは必ず専門の業者に依頼してください。

■ 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

 警告	
	長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する 長期使用により設置場所の強度が不足すると、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。
	不安定な場所で設置しない 本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。
	設置場所が決定したら、キャスターのストッパーを確実にかける 本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。
	移動時はキャスターのストッパーを確実に解除する キャスターの破損、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

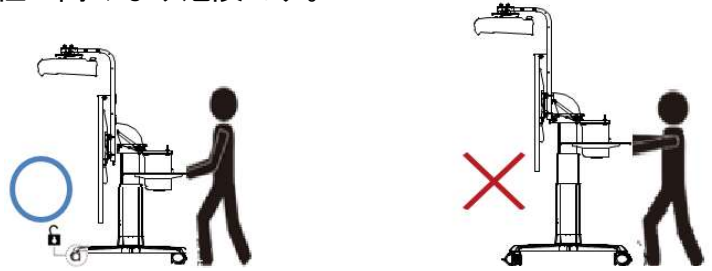
警告

- | | |
|---|---|
|  | 水平でない場所、段差があるなど不安定な場所での移動は行わない
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | 組立作業は必ず二人以上で行う
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | 本製品にぶら下がる、揺らす、もたれかかる、乗るなどしない
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | ご使用前は、接続部及びねじ部に緩みが無いか再度確認する
ねじが緩んだままでのご使用は、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | 直射日光の当たる場所、及び高温多湿の場所で使用しない
変色や変形の原因となるだけではなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | 屋外で使用しない
変色や変形の原因となるだけではなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | 移動の際は、見通しが悪いため二人以上で行い、周囲を十分確認する
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | 組立後は、接続部及びねじ部に緩みが無いか定期点検をする
緩んでいた場合は確実に締め付ける
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | 修理が必要な場合は、直ちに使用をやめる
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。修理が必要な場合は、「テクニカルサポートセンター」まで連絡ください。 |
|  | 地震など強い揺れを感じた場合は本製品に近づかない
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | 本製品脚部周辺に段差となるようなケーブル、カーペット等の障害物を置かない
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |
|  | まぐボードに手で体重を掛けたり物を載せない
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。 |

警告

移動の時は下げて移動する

まぐボードが高い位置のまま動かさず、一端 いちばん下まで下げてから移動してください。高いまま移動すると、転倒の可能性が高くなり危険です。



注意



2分以上連続操作しない

2分以上連続操作すると、モーターが発熱により自動停止します。約20分ほどしてから、再度動作させてください。



まぐボード表面に鋭利な刃物、尖った金属などを近づけない

本製品破損の原因となります。また怪我を負う恐れがあります。



棚板を持って持ち上げない

棚板を持って本体を持ち上げないでください。棚板には、持ち上げられる強度はなく、破損する可能性があります。



マグネットシートを剥がさない

マグネットシート表面の損傷などによるシート交換以外で、シートを剥がさないでください。シートを剥がす場合は、まぐボードを水平の状態で作業を行ってください。傾斜した状態では、シートが滑って落下する恐れがあります。

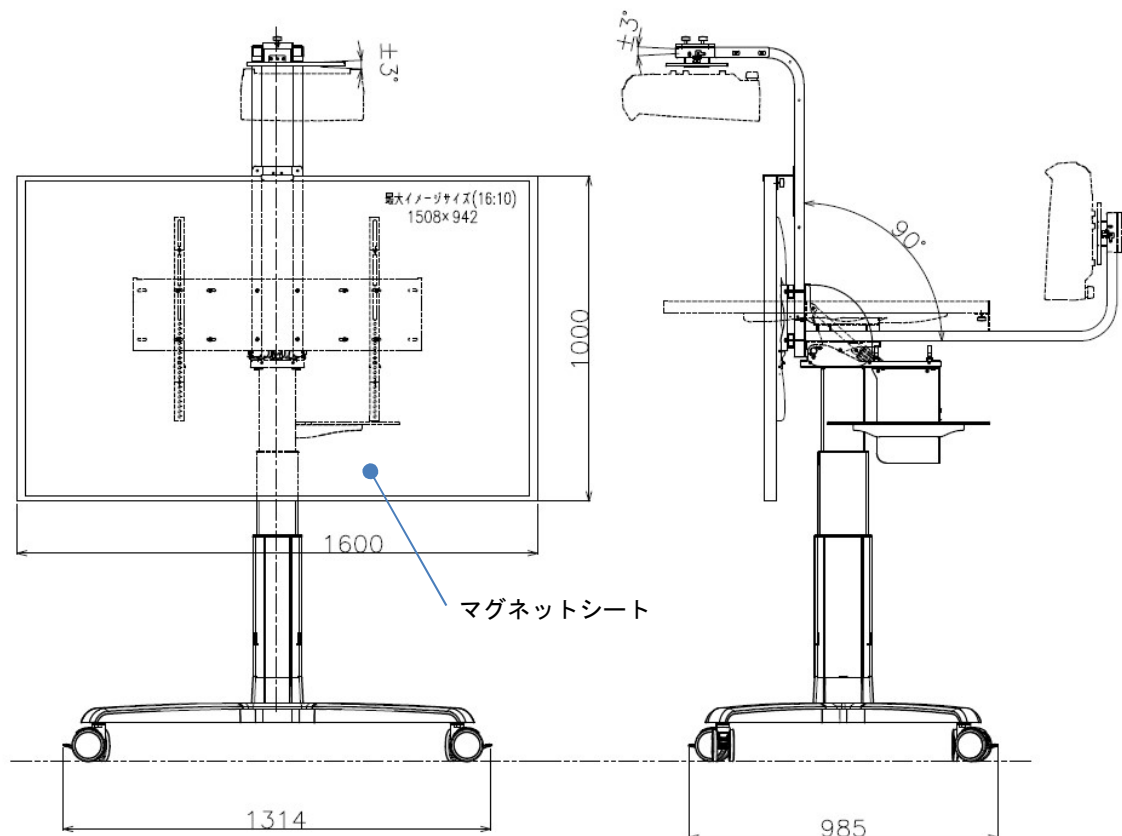
お手入れ方法

映写面が汚れた場合は、綺麗なぞうきんで水拭きしてください。
汚れが落ちにくい場合は薄めた中性洗剤を使い、拭き上げてください。

※本製品は、マーカーで書き込みレーザーで消す事が出来ませんが、使用状況によっては徐々に表面が汚れていきます。

仕様

※プロジェクターは別途



型式	DSB-70E-T1	DSB-70E-T2
対応プロジェクター	EPSON : EB-685WT・EB-695WT EB-750F・EB-755F EB-725W・EB-725Wi・EB-735Fi EB-1480FT・EB-1485FT EB-800F・EB-805F NEC : NP-UM351WJL・NP-UM352WJL HITACHI : CP-TW3005J・CP-TW3506J CP-AW3005J Maxell : MC-TW3506J・MC-AW3005J	RICOH : WX4152・WX4152N・WX4152NI WX4153・WX4153N
まぐボード 外形寸法 W×H	1600mm×1000mm (70型)	
イメージサイズ W×H	1508×942 (16:10)	
映写面	マグネットシート (WE112)	

製品の特徴

プロジェクターの映像をまぐボード面に映し出します。

まぐボードは、電動の昇降・チルト動作が可能で、用途に合わせて高さ、角度を自由に設定出来ます。

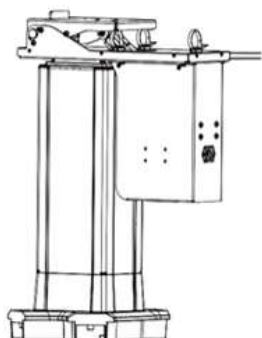
まぐボードの表面には、マグネット式スクリーン生地を装着していることで、映像を美しく映し出し、専用マーカーで書き込み、レーザーで消す事が可能です。

マグネット式スクリーン生地は、傷んだり汚れがひどくなってしまった場合は、簡単に貼り替える事が可能ですので、弊社テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。

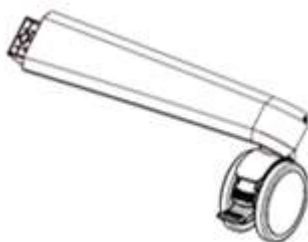
部品の確認

■組立の前に必ず確認ください。使用しない部品もあります。

スタンド本体



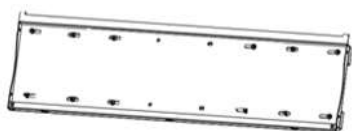
A メインユニット ×1



B フット ×4



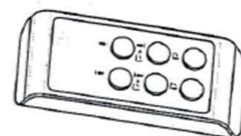
C ボード取付金具 ×2



D ブラケット ×1



E 棚板 ×1



F リモコン ×1



G-1 リモコンホルダー ×1



G-2 両面テープ ×1



H スパイラルチューブ ×1



I 樹脂カラー ×4 *



六角レンチ

J-1 4mm ×1

J-2 5mm ×1

J-3 6mm ×1



K 電源コード ×1



六角穴付きボルト

L-1 M8-40 ×8

L-2 M6-30 ×4 *

L-3 M6-12 ×2 *

L-4 M6-8 ×4

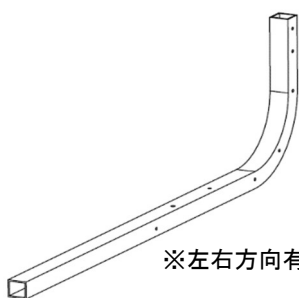


十字穴付きバインドねじ

L-5 M4-12 ×2

*の部品は使用しません

プロジェクターフレーム・付属品

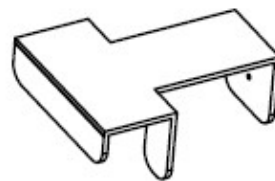


M Rフレーム ×2
※左右方向有り

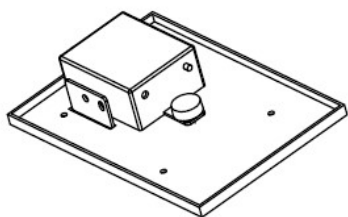


※左右方向有り

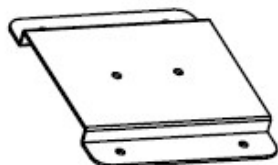
N 先端フレーム ×2



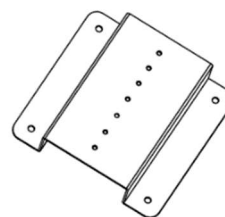
O ブレ止金具 ×1



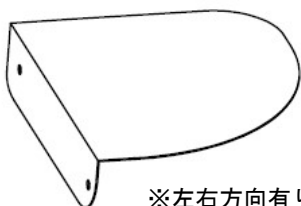
P プロジェクター取付プレート ×1



Q トッププレート ×1



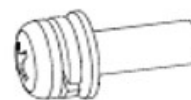
R 左右連結板 ×1



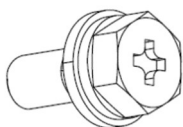
S 安全カバー ×2
※左右方向有り



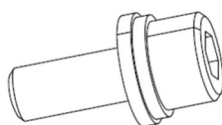
ユリヤねジ
T-1 M5-17 ×2
T-2 M6-26 ×2



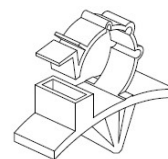
十字穴付きなべ小ねじ座金組込
U-1 M6-15 ×4



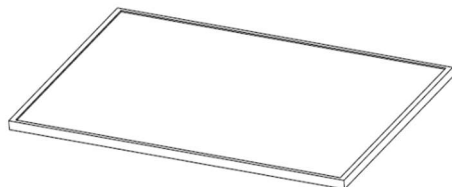
十字穴付き六角ボルト座金組込
U-2 M5-15 ×10



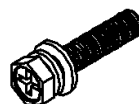
六角穴付きボルト座金組込
U-3 M6-60 ×4
U-4 M5-8 ×10



V ケーブルクランプ ×8



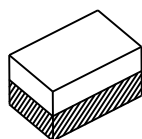
W まぐボード(70型) ×1



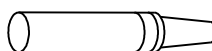
Y 十字穴付き六角ボルト座金組込 ×4



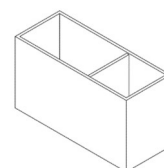
Z スペーサー ×4



X-1 イレーザ ×1



X-2 専用マーカー(赤黒) ×各1



X-3 ペン受け ×1

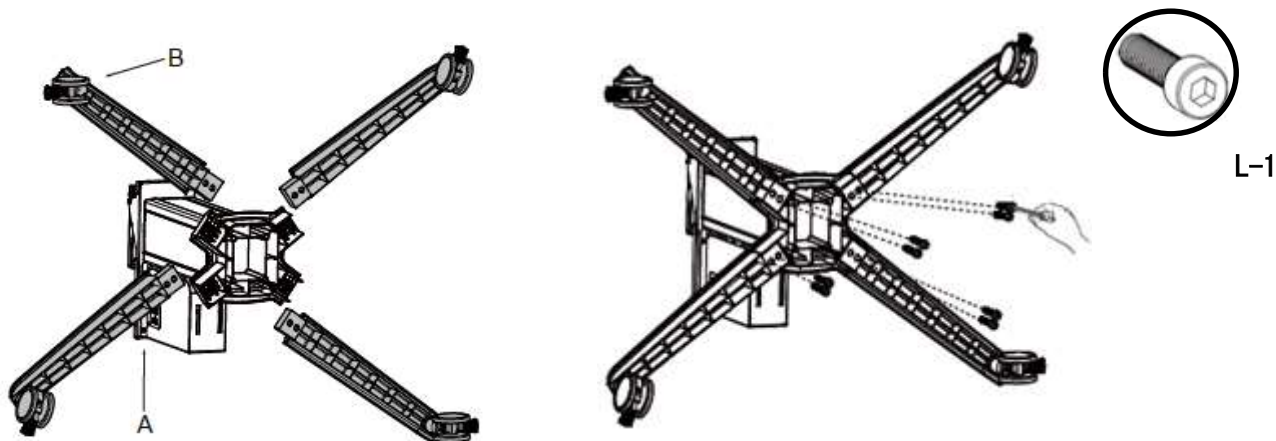
別途ご用意いただくもの

- プラスドライバー
- 手袋



組立要領

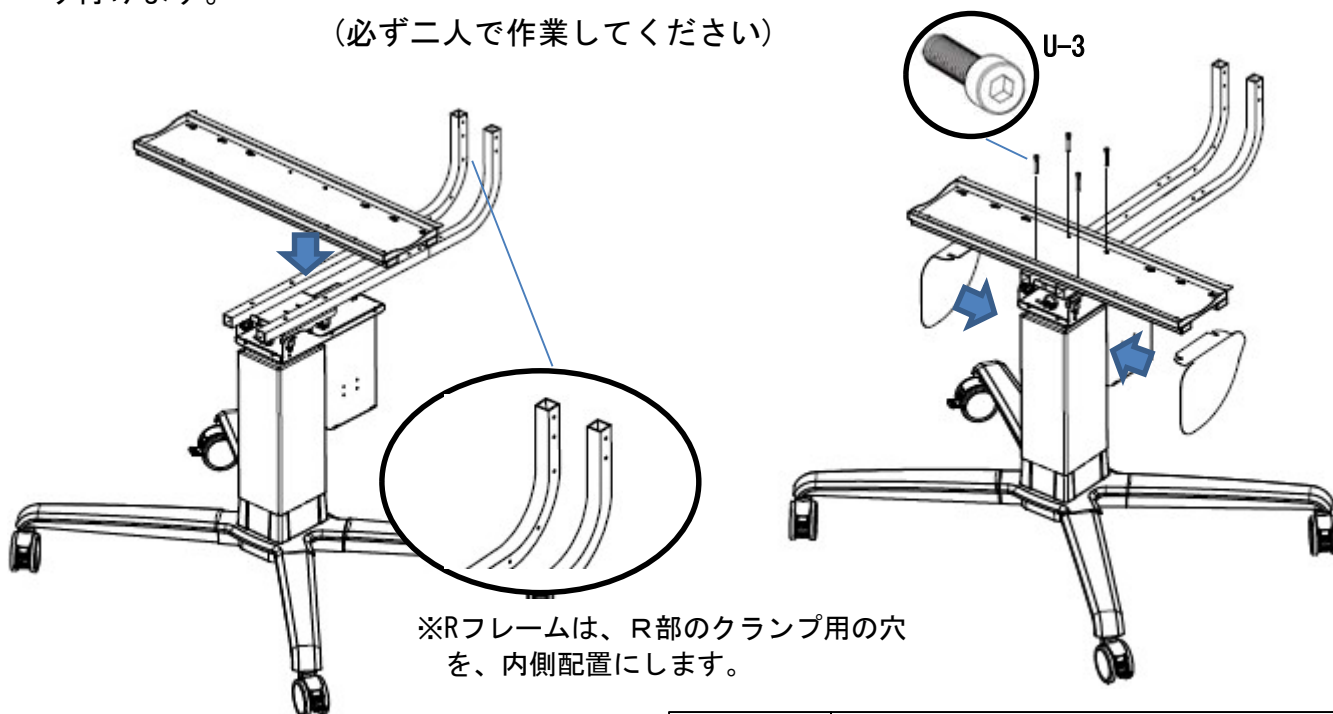
- 1 本体(A)に脚(B)を4本差し込み、ねじ(L-1)を8本使用し、六角レンチで締め付けます。



- 2 本体にRフレーム(M)とブラケット(D)を取り付けます。

ねじ(U-3)を4本使用し、六角レンチで仮締めした後、安全カバー(S)を差し込み、本締めし取り付けます。

(必ず二人で作業してください)



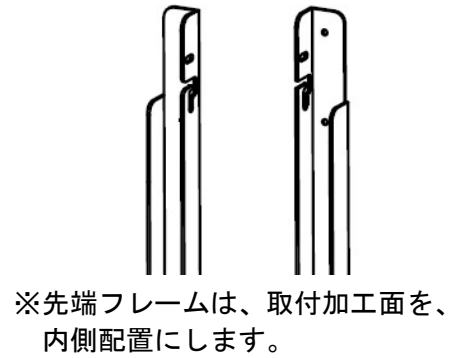
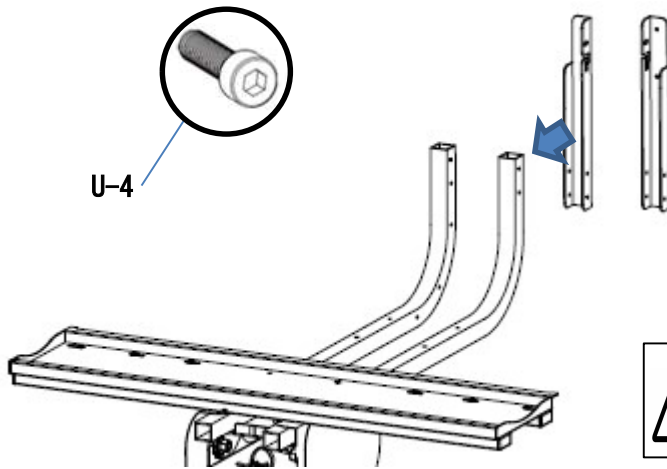
※Rフレームは、R部のクランプ用の穴を、内側配置にします。



注意

この部品は左右の向きがあります!
イラストを参考に取り付けてください

- 3 先端フレーム(N)をRフレーム(M)の先端に取り付けます。ねじ(U-4)を8本使用し、六角レンチで取り付けます。

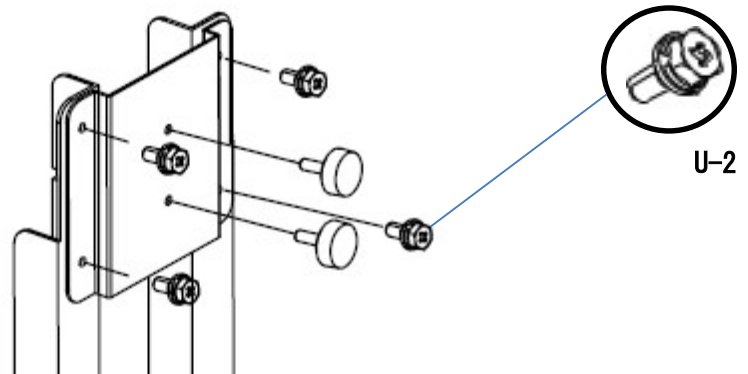


注意

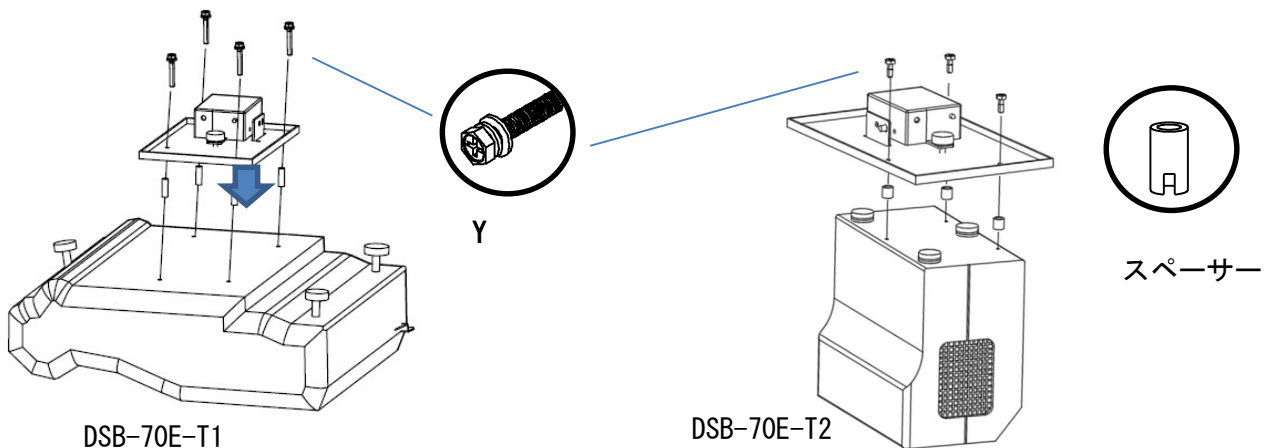
この部品は左右の向きがあります!
イラストを参考に取り付けてください

- 4 先端フレーム(M)にトッププレート(Q)をねじ(U-2)を4本使用し取り付け、ユリヤねじ(T-2)を軽く締め込みます。

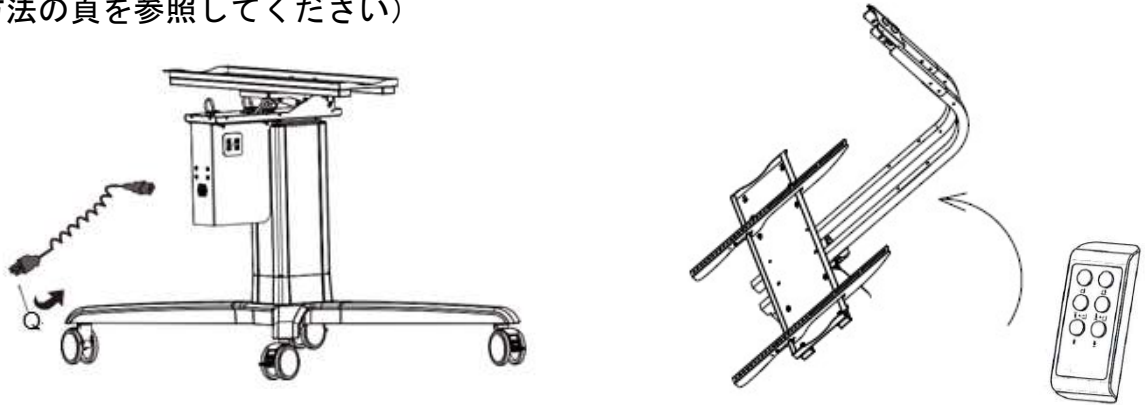
※ユリヤねじを締め込み過ぎるとプロジェクター取付プレート(P)を組み込む事ができません。



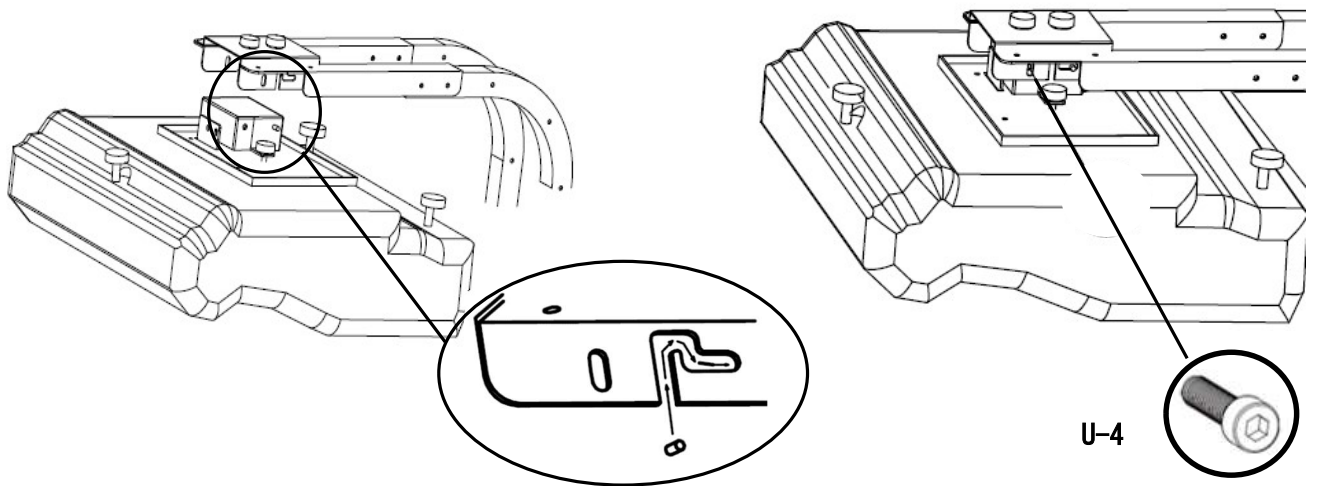
- 5 プロジェクターに、プロジェクター取付プレート(P)を、スペーサー(Z)とねじ(Y)で取り付けます。DSB-70E-T2の場合、プロジェクターの取付ねじ付近に、突起構造があるため、スペーサーの切り欠きで突起構造と干渉しないよう取り付けてください。



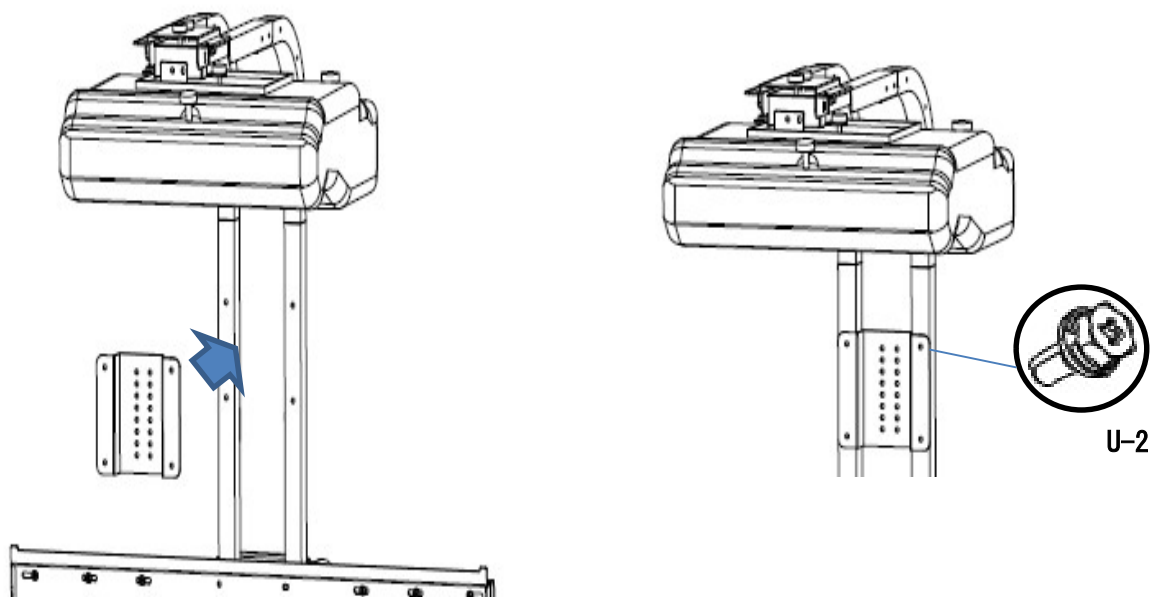
- 6 スタンド本体背面に、電源コード(K)を差し込みます。操作スイッチで90°チルトさせます。
(操作方法の頁を参照してください)



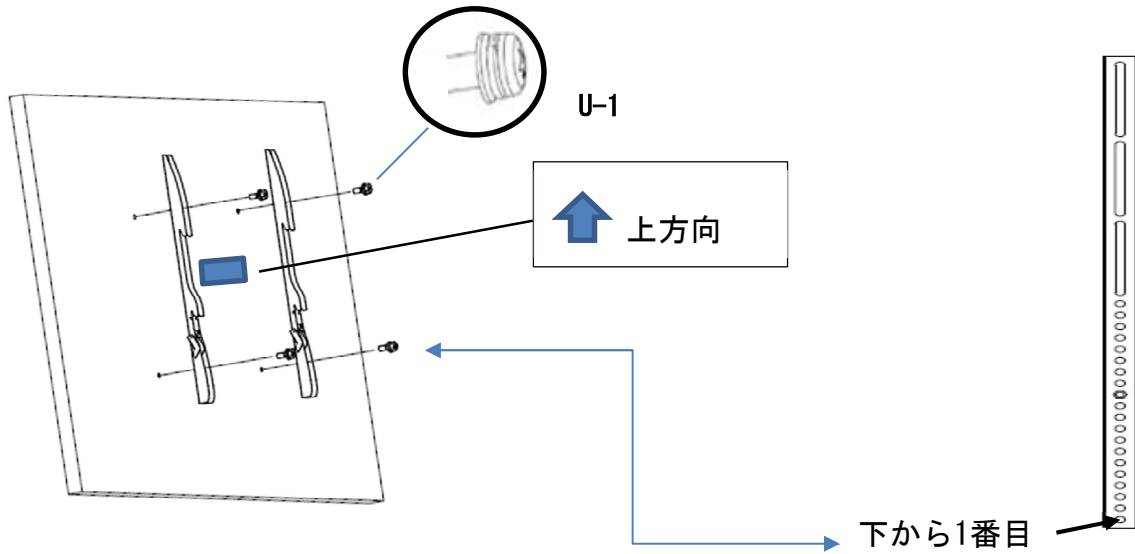
- 7 プロジェクター取付プレート(P)を、先端フレーム(N)に取り付けます。
プロジェクター取付プレート(P)のピンを、イラストのように、溝に沿って奥まで
差し込み、ねじ(U-4)2本で固定します。



- 8 左右連結板(R)をRフレーム(M)にねじ(U-2)4本で取り付けます



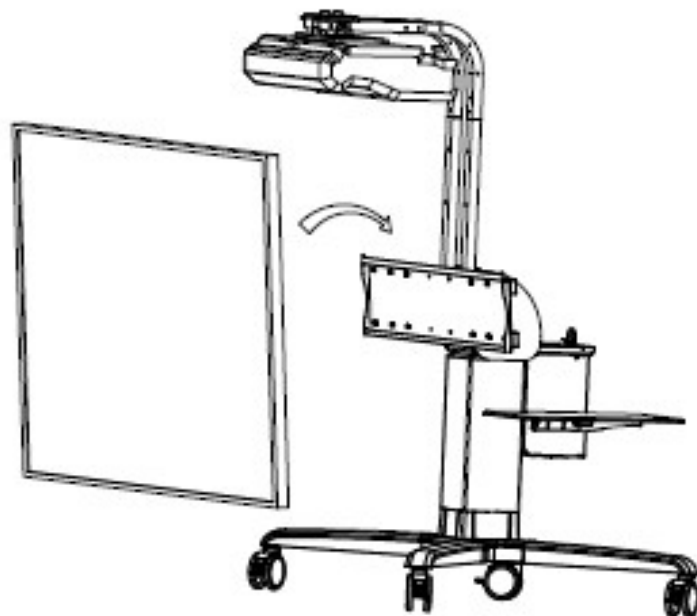
- 9 まぐボード(W)の上下方向を確認し、ボード取付金具(C)を、ねじ(U-1)4本で取り付けます。
 プロジェクターの機種により、取り付けるねじの位置が異なります。
 ボード取付金具(C)の穴の一番下を基準(1番)とし、ねじ位置一覧に従い取り付けてください。



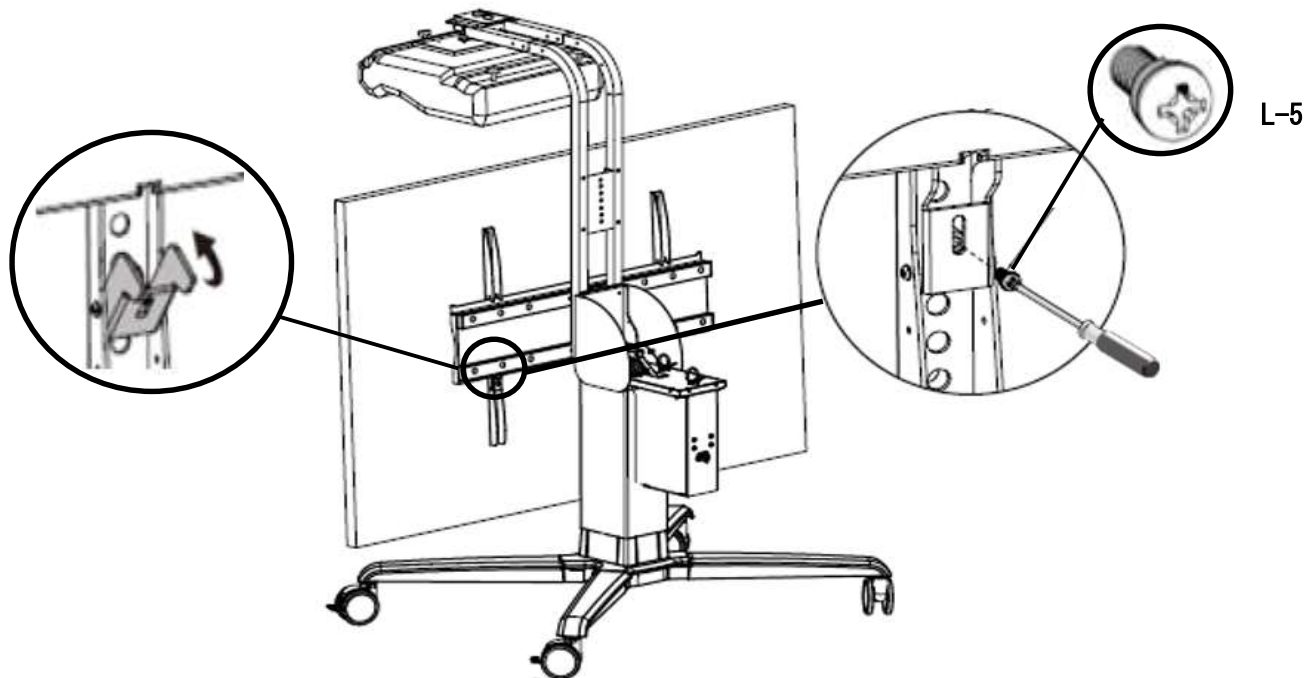
プロジェクター別取付ねじ位置一覧

DSB-70E-T1				DSB-70E-T2					
EPSON		NEC		HITACHI		Maxell		RICOH	
EB-685WT EB-695WT	8番目	NP-UM351WJL NP-UM352WJL	8番目	CP-TW3005J CP-TW3506J CP-AW3005J	8番目	MC-TW3506J MC-AW3005J	8番目	WX4152 WX4152N WX4152NI WX4153 WX4153N	8番目
EB-750F EB-755F EB-725W EB-725Wi EB-735Fi	6番目								
EB-1480FT EB-1485FT EB-800F EB-805F	10番目								

- 10 まぐボード(W)をブラケット(D)に引っ掛けて載せます。



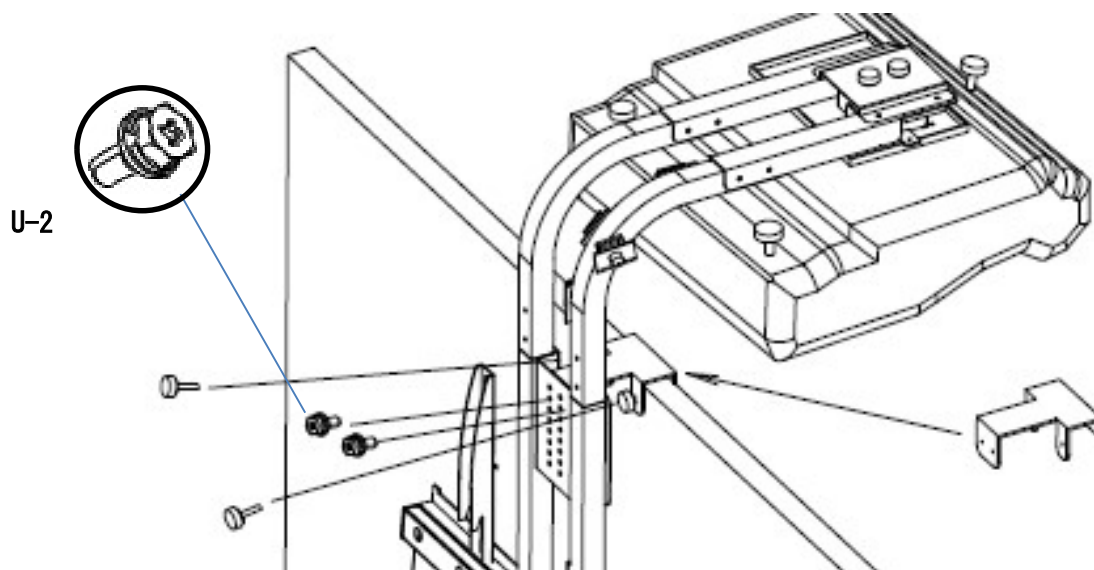
11 ボード取付金具(C)の固定金具を持ち上げ、ねじ(L-5)2本で固定します。



注意

ねじを閉め忘れると、まぐボードが脱落するなど大変危険です。

12 ブレ止め金具(O)を、まぐボード(W)に引っ掛け、左右連結板(R)と一致する穴位置で、ねじ(U-2)2本で固定します。
ユリヤねじ(T-1)2本をブレ止め金具(O)に取り付け、まぐボードを押さえつけます。



注意

ユリヤねじを必要以上に締め込まないでください。
ボード背面が陥没する恐れがあります。

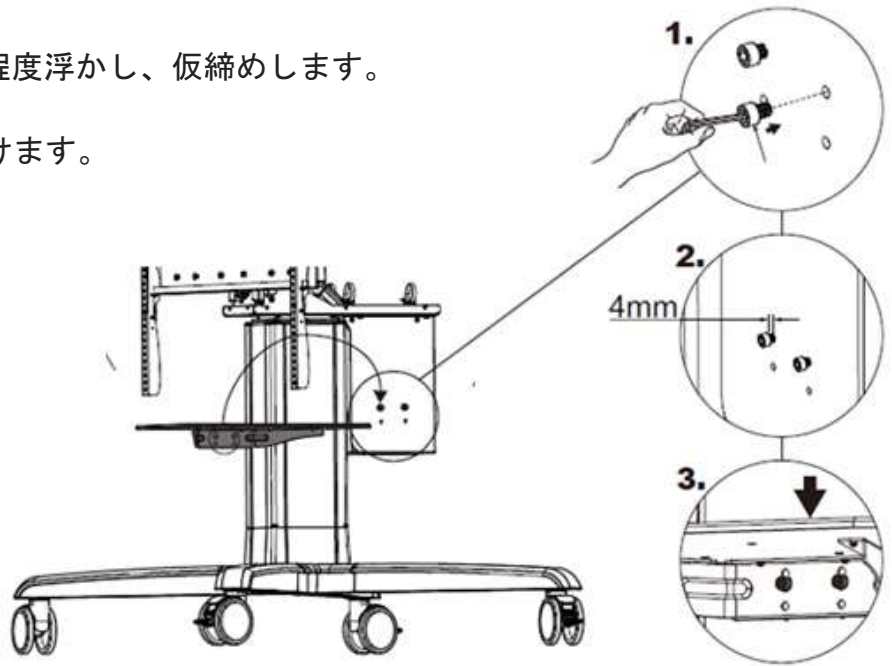
13 棚板(E)を取り付けます。

ねじ(L-4)を上側に2本、4mm程度浮かし、仮締めします。

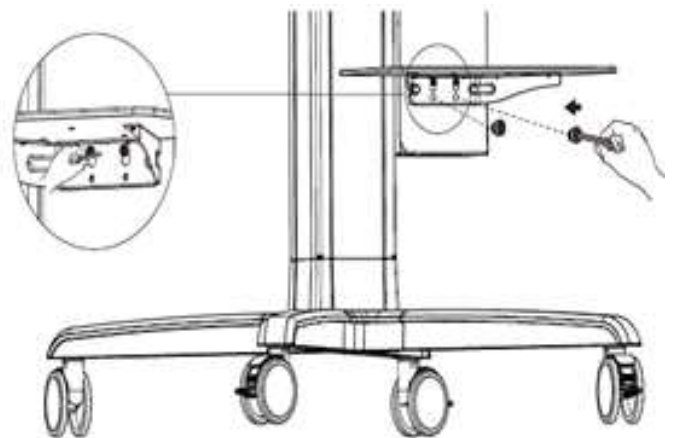
棚板(E)を2本のねじに引っ掛けます。



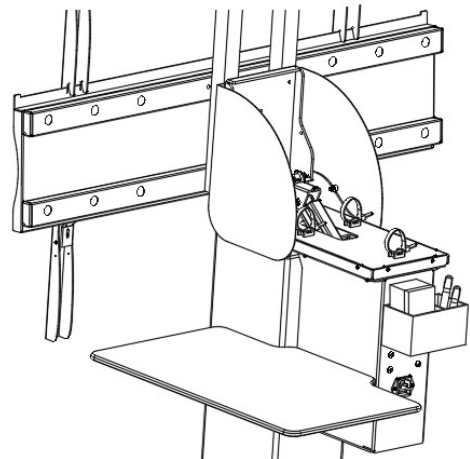
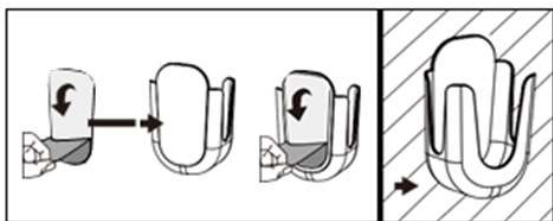
L-4



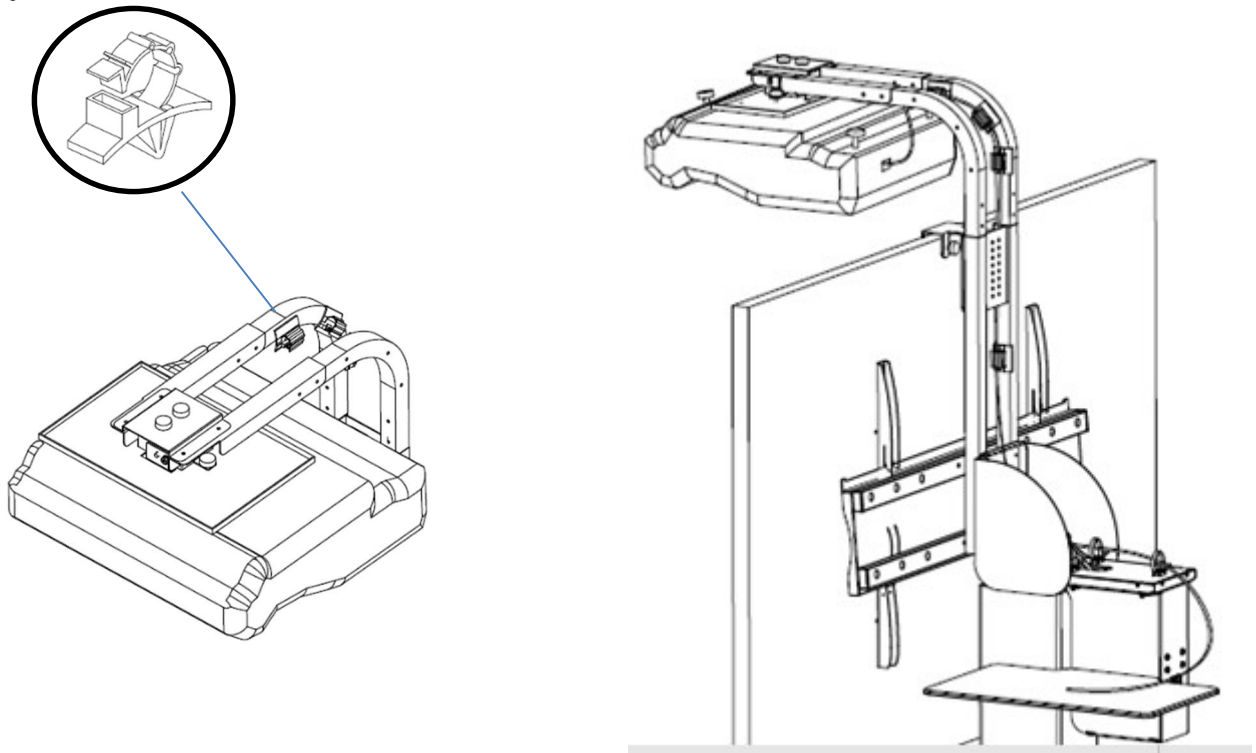
下側にねじ(L-4)2本を取り付け、4本とも本締めします。



14 リモコンホルダー(G-1)を任意の場所に、両面テープ(G-2)で貼り付けてください。 ペン受け(X-3)は、マグネットの効く本体背面に取り付けて使用してください。

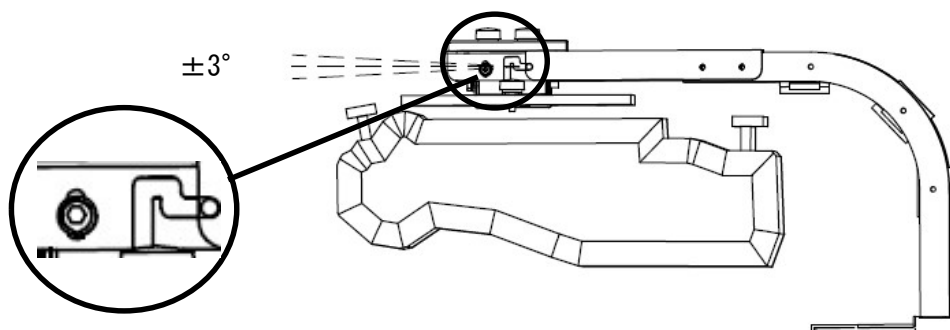


- 15 プロジェクターの電源や映像線などは、ケーブルクランプ(V)で線を纏めて結束できます。Rフレーム(M)の内側の穴に、ケーブルクランプ(V)を必要なだけ差し込み、使用してください。

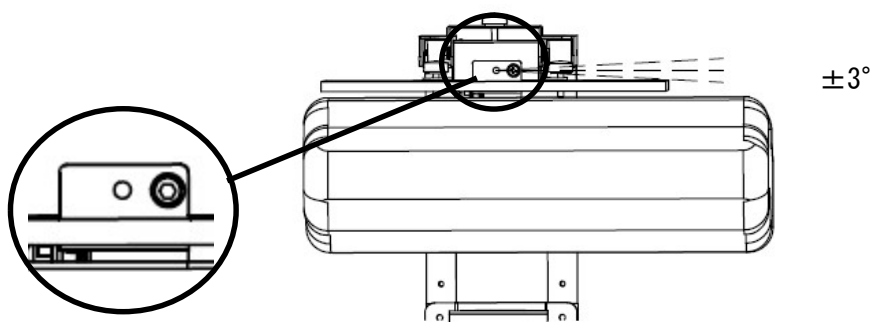


- 16 プロジェクターの電源を入れ、まぐボードの枠内に映像が入るよう調整します。

- 上下方向の画角調整は、ねじ(U-4)2本を一旦緩め角度を調整し、締め直します。
※チルトすると、水平と垂直位置で、映像位置の変化が生じますので、バランスのよい位置に調整をしてください。

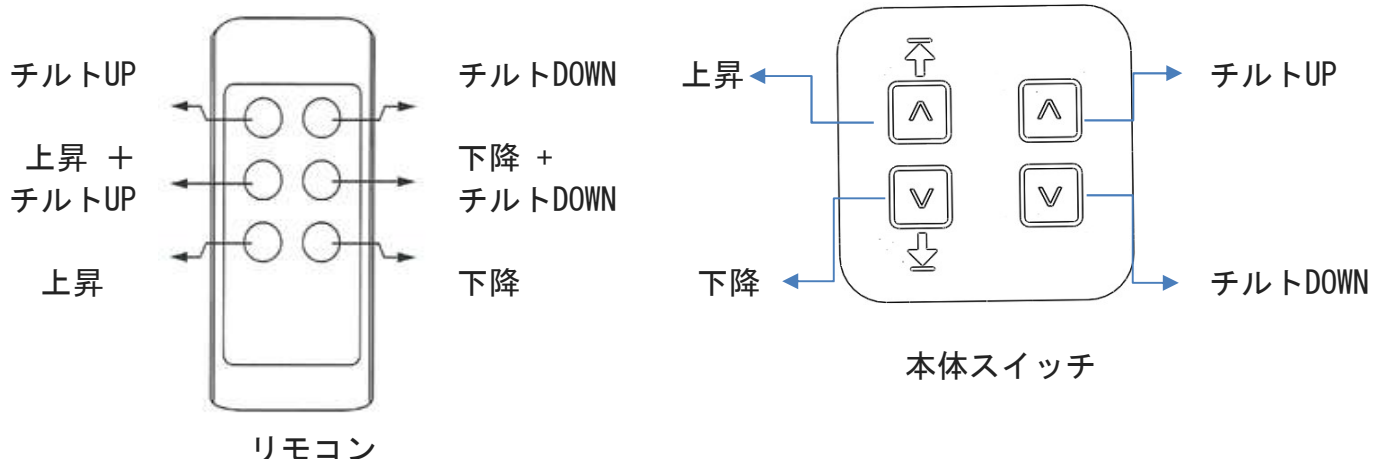


- 傾きの画角調整は、ねじ2本を一旦緩め角度を調整し、締め直します。



操作方法

- 本体スイッチの[上昇]、[下降]、[チルトUP]、[チルトDOWN]ノボタンに応じて、動作します。
- リモコンの[上昇]、[下降]、[チルトUP]、[チルトDOWN]、[上昇+チルトUP]、[下降+チルトDOWN]のボタンに応じて、動作します。

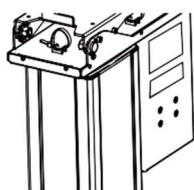


リモコン使用電池：LRV08 ×1個

本体スイッチとリモコンは、安全に配慮した押し続けている時だけ動作するモーメンタリー方式です。

リモコンのペアリング

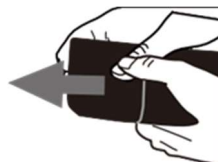
1. 受信機(本体側)の確認



リモコン信号のアドレスが表示されています。

※受信機のアドレスは変更出来ません。

2. 送信機の確認



バッテリーのカバーを外します。

3. ディップスイッチの設定

受信機のアドレスに合わせて、送信機のディップスイッチを変更すると、ペアリングは完了です。

ヒューズ交換

動かない場合は、ヒューズボックスのヒューズを確認し、切れている場合は交換してください。
ガラス管ヒューズの仕様：10A、250V 20mm



※ヒューズ交換は、電源ケーブルを外してから、作業を行ってください。

保証書

品名 電動まぐボード

お客様名： _____ お取扱店： _____

ご購入年月日： _____ 住所 / TEL： _____

保証期間

ご購入の日より

本体

1 年

1. 期間内であっても次の場合は有償修理となります。
 - (1) この保証書のご提示がない場合。
 - (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
 - (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
 - (5) 火災や天災等による故障および損傷。
 - (6) 消耗品および付属品の交換の場合。
 2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。
万一、記入が無い場合は、ただちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。
- ※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店または下記テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。

製造販売元 **株式会社 オーエスエム**

連絡先：株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守6-5-53

TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日9:00~17:50 ※土日祝日を除く)

E-mail:info@os-worldwide.com